

## 第2回 荒川区地域経済活性化に関する分科会 次第

日 時： 令和7年8月20日(水) 午後3時00分

場 所： 荒川区役所5階 大会議室

### 1 開会

### 2 産業活性化に向けた取組について

議題1 「区内ものづくり技術のPR・活用に向けて」

議題2 「企業同士の交流、スタートアップとの連携を図るには」

議題3 「区内学校卒業生の区内企業就職に向けて」

#### (1) 資料説明

#### (2) 意見交換

##### ①議題1の論点

- ・区内製造業 PR にあたってのブランディング、プロモーションはどのようなものが考えられるか
- ・区内の製造業とものづくり技術を活用したい方とのマッチングを行うにはどのような取組・支援が求められるか。

##### ②議題2の論点

- ・企業同士の交流を深める、企業とスタートアップとの連携を強化するにはどのような取組・支援が求められるか（開催頻度、参加対象者、交流を深める効果的な内容は）

##### ③議題3の論点

- ・区内学校卒業生の区内企業への就職につなげるために、在学中にどのような取組・支援が求められるか

### 3 その他

### 4 閉会

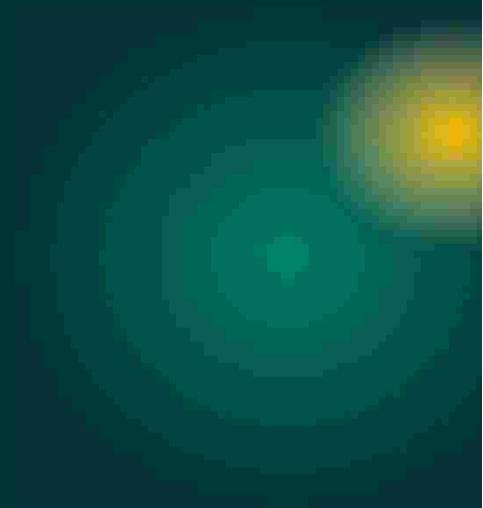
(配付資料)

・資料1 産業活性化に向けた取組事例について

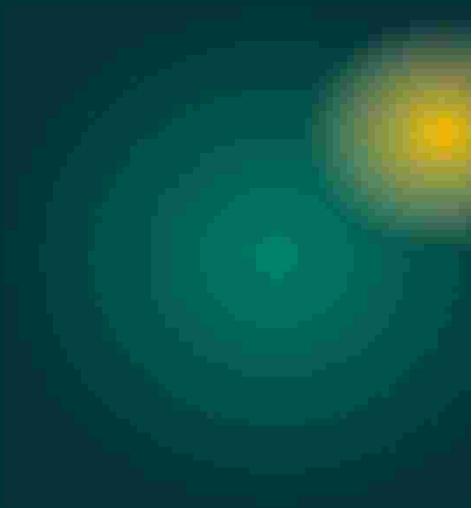
## 資料 1

# 産業活性化に向けた取組事例について

荒川区産業経済部



# 01 区内ものづくり技術のPR・活用に向けて



## 他自治体の事例

# ものづくり技術の活用・PRの事例（1）

1

## Garage Sumida（ガレージスミダ）

### ものづくり総合支援拠点

・墨田区で金属加工を中心としたものづくりを行ってきた**浜野製作所**が2014年に立ち上げたインキュベーション施設で、スタートアップの製品開発を支援。これまでに30社を超えるスタートアップの入居・開発場所提供や実証を支援し、400件を超えるスタートアップの開発・製造支援を実施。

・最大の特徴は、当社の強みである金属加工を中心とした製造技術を持つ現場と直結していること、アイデアの段階から製品化まで一気通貫でサポートできること。

#### 【施設概要】

機能：個室4室（1室13m<sup>2</sup>、月額10万円）、オープンラウンジ、会議室、ラボ等

主な入居対象者：創業直後から創業後3年未満等

利用可能時間：平日のみ、9時～21時

その他：東京都認定インキュベーション施設、登記可



ガレージスミダ

※手前はオープンラウンジ、奥に個室スペース

## 他自治体の事例

# ものづくり技術の活用・PRの事例（1）

ガレージスマダによる主な支援実績の紹介。

## 遠隔コミュニケーションロボットOriHime

・株式会社オリィ研究所が開発した分身ロボットで、カメラ、マイク、スピーカーを搭載し、インターネットを通じて遠隔操作が可能なロボット。移動の制約がある人が、まるでその場にいるかのように、風景を見たり、会話に参加したりすることができる。

※浜野製作所はガレージスマダ開設前から支援。



遠隔コミュニケーションロボット  
OriHime

創業：2012年  
本社：中央区  
資本金：1億円  
従業員：77人  
業容：分身ロボットの研究開発

## パーソナルモビリティWHILL

・WHILL株式会社が開発した近距離移動を楽しくスマートにするためのパーソナルモビリティ。スタイリッシュなデザインと高い走行性能が特徴で、従来の電動車いすの概念を変える次世代型モビリティとして注目されている。自動運転機能などを組み合わせ羽田空港はじめ公共施設に設置されている。同社は米国、オランダにも拠点を設立。



パーソナルモビリティWHILL

創業：2012年  
本社：品川区  
資本金：4.9億円  
従業員：300人  
業容：近距離モビリティの開発

## 他自治体の事例

# ものづくり技術の活用・PRの事例（2）

2

## I-OTA合同会社

### ものづくりに関するプロジェクト型共同事業体

- ・I-OTA合同会社は、東京都大田区を拠点とする、ものづくりに関するプロジェクト型共同事業体。大手企業からの受注に対し、複数の町工場がそれぞれの得意分野を活かす形で分業して仕事を仕上げる「仲間まわし」という伝統文化を新たな形で活用していくと、町工場の若手経営者らが中心となって2018年に設立。
- ・代表社員の國廣氏が代表取締役をつとめる企業などがハブ企業となって案件を獲得し、参画企業の中で案件に必要な技術を持った企業が連携していく。町工場が協力して技術を補完し合うことでビジネスチャンスを逃さず利益につなげる。

#### 【会社概要】

設立：2018年6月

従業員数：5名

参画企業数：約80社

所在地：大田区

事業内容：試作品や製品の企画・設計・製造等



マッチングをデジタル化するプラットフォームサービス「プラットものづくり」

## 他自治体の事例

# ものづくり技術の活用・PRの事例（3）

3

## DMM.make AKIBA

つくり手が描く未来を共に実現する

・2014年から**合同会社DMM.com**が秋葉原に運用開始した、ハードウェア開発用機材と、技術やビジネス面でサポートするスタッフを兼ね備えたコワーキングスペース。この施設を中心に、さまざまな事業課題を持つスタートアップや企業が集い、課題解決コミュニティを形成。

### 【施設概要】

機能：ハードウェア開発環境（3Dプリンタ、レーザーカッター、工作機械、電子工作工具）、交流会や勉強会も随時開催

利用可能時間：24時間365日（スタッフ対応：平日10～19時）

利用方法：月額利用、都度利用可

アクセス：秋葉原駅から徒歩2分

その他：東京都認定インキュベーション施設、登記可

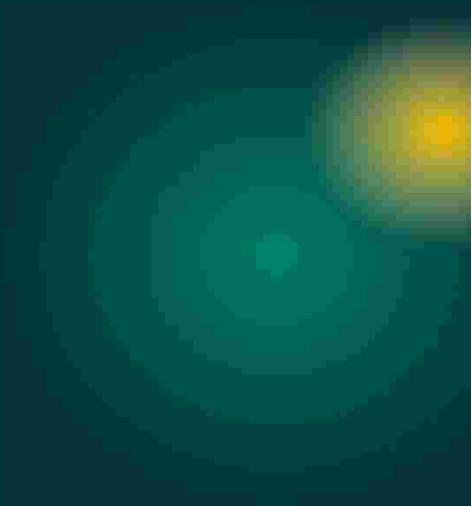
※「昨今の市場の変化」のため、2024年4月30日をもって運営終了



DMM.make AKIBA

02

企業同士の交流、スタートアップとの連携  
を図るには



## 他自治体の事例

# 企業同士の交流・スタートアップとの連携事例（1）

1

## ベンチャーフレンドリー塾

### ものづくり企業とスタートアップによる会員制の勉強会

- ・大田区内外のものづくり企業とスタートアップの関係者による会員制の勉強会として、**大田区産業振興協会**により2022年10月に立ち上げ。
- ・それぞれのポテンシャルを融合させ、共に新しい商品やサービスを開発し、市場を開拓するための具体的な方策を議論し、実行していく場。

#### 【事業概要】

会員：区内外の製造業、スタートアップ、VC等のエコシステム関係者、

会員数70以上

活動：2か月ごとの開催。町工場とスタートアップの協業成功事例の学習  
、会員同士の意見交換会、懇親会等を実施。

参加無料（会員制・お試し参加可）

第12回ベンチャーフレンドリー塾

テーマ：「VF的プランディング・メディア戦略」

10/22(火) 15:00 - 16:30

16:45～懇親会（事前申込制・会費3,000円）

会場：PIOPARK（ピオパーク）  
東京都大田区羽田空港1丁目1番地 HANEDA ZONE 4201  
近畿モノレール、羽田空港駅徒歩5分  
TEL: 03-5736-5100

【講師】 磯島 康郎 氏

【講師紹介】 中小企業診断士/Value Produce研究所 所長  
(株)フレジン・企画制作センター 統括制作部長  
（ヒューマンリソース）「おまかせ！」などフレジンの  
特徴をアドバイザーとして企業のPR戦略にご参考ください。  
大手PR会社のアドバイザー  
中小企業の広報PR、「ブランディング戦略立案」の活性化支援  
新規事業サポート～2次会見、説明会開催  
新規事業開拓支援会員登録部門などを務める

【会場紹介】 メディア戦略の極意を限定公開！  
マスメディアの最前線から見た企業プランディング  
の考え方や広報戦略のあり方を講演!  
メディアとの関係構築の仕方など、実践につながる  
情報を解説します！

【セミナー内容】 最新的メディア戦略を知りたい方および、大田  
区内外のものづくり企業やスタートアップ関係  
者とのネットワークを構築したい方

【開会プログラム（予定）】  
15:00～開会  
15:05～ご講演（約60分）  
16:05～パネルディスカッション（約25分）  
16:30～閉会  
16:45～懇親会（事前申込制）

【ご参加希望の方】  
メールアドレス【haneda@pio-ota.jp】宛に、  
企業名、所属・役職、お名前、ご参加理由（簡単に）を記載の上、  
メールにてお送りください。

【お問い合わせ】  
企画財團法人大田区産業振興協会 大田PIOPARK  
ベンチャーフレンドリー塾運営事務局  
東京都大田区羽田空港1-1-4 ゾーンK-209号室  
Mail: haneda@pio-ota.jp  
URL: <http://www.hanedapio.net/prospark/>

## 他自治体の事例

# 企業同士の交流・スタートアップとの連携事例（2）

2

## かつしか未来戦略会議

### 葛飾区内若手経営者の交流会

・次世代の葛飾区を担う若手経営者が一同に介し親睦を深めるとともに、新しい人脈づくりの場として活用していただくことでこれまでにないシナジーが生まれ葛飾区内経済の活性化につながることを期待し、**東京商工会議所葛飾支部青年部**により2023年7月に初開催。

#### 【事業概要】

対象：葛飾区内事業所の経営者・役員・後継者で、満年齢が50歳以下の方

活動：年に1回のペースで開催、交流会のプログラム（講演会、グループワーク、交流会）

拠点：東京商工会議所  
主催：葛飾支部 青年部  
後援：（予定）葛飾区、（公社）葛飾法人会青年部会  
(一社) 東京中小企業家同友会かつしか支部・ものコト100

## かつしか未来戦略会議

～葛飾区内若手経営者の交流会を開催します！～

東京商工会議所葛飾支部青年部では区内若手経営者が一緒に成長する機会を設け、交流をすることを目的とした交流会を開催いたします。次世代の葛飾区を担う若手経営者が一同に介し親睦を深めるとともに、新しい人脈づくりの場として活用していただくことでこれまでにないシナジーが生まれ葛飾区内経済の活性化につながることを期待しています。皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時

2023年7月9日(水) 18時～20時30分  
(開場：17時30分)

会 場

テクノプラザかつしか 2F「大ホール」  
(住所：葛飾区青戸7-2-1)

参加対象

葛飾区内事業所の経営者・役員・後継者で、満年齢が50歳以下の方  
※ただし、上記要件を満たさない場合でも、葛飾区内事業専門をお考えの方等は事務局までお問い合わせください。

内容(予定) 【第一部】講演会 【第二部】グループディスカッション

【第三部】交流会

<講演内容>

地域資源を活用したまちづくりへとつながり方、街との関わり合い方～  
講師： 南葛SC プロモーション部長 天野 春果 氏  
(スポーツマーケティングプロフェッショナル)

プロフィール：1971年東京都生まれ。都立府中高校からラグビントップ選手として立派な大学に進み、96年に卒業。同年のアーランク五輪でボランティアを務めて脚光を浴び、97年に東川崎フロンターレに入社。ホームタウン活動に携わる。2002年サッカー・ワールドカップ日本代表の監督補助官として出走。同監督としてヨーロッパでの新規開拓を行った。19-20年は東京オリンピック・パラリンピックの運営委員会に所属。その後、川崎に戻って23年に退社。24年2月にツーウィルスポーツ(TWS)を独立し、代表に就任。同月から南葛SCのプロモーション部長。



申込方法

下記URLよりお申込みください。お申込み期限 6/25 (水)  
URL: <https://form.pooker.jp/Q/auto/ja/tcc1002056/QA/>

【お問い合わせ】 東京商工会議所 葛飾支部 9：30～17：00 (土日祝日除く)  
(住 所) 葛飾区青戸7-2-1 テクノプラザかつしか3階 (TEL) 03-3838-5655

FAX(受付時間外も受け取れます)：03-3838-5687 (受付時間外)



## 荒川区の事例

# 企業同士の交流・スタートアップとの連携事例（3）

3

## MACCフォーラム

令和7年度はスタートアップとの交流会を初開催

・荒川区内のものづくりに関わる企業の新事業展開を支援するMACC事業の一環で、毎年開催しているMACCフォーラムにおいて、令和7年度はスタートアップ企業との交流会を初めて開催する。

・先進的な技術・サービスを持つスタートアップとの交流を通じて、中小企業とスタートアップのオープンイノベーションの可能性を探る。

※MACCとは、Monozukuri Arakawa City Clusterの略。

【事業概要（予定）】

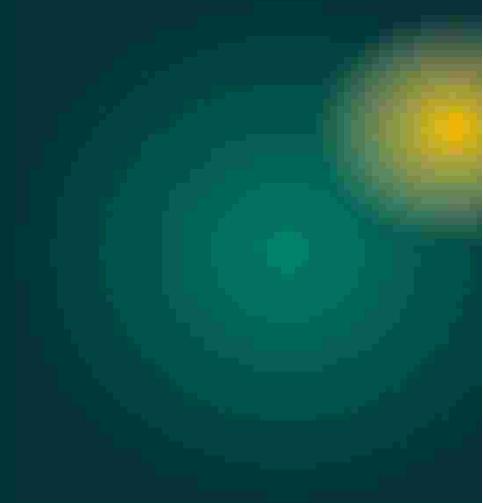
日時：12月8日14時～

場所：ふらっとにっぽり 3F

内容：①スタートアップとの協業に関する基調講演、②区内スタートアップ企業数社のピッチ、③交流会など



# 03 区内学校卒業生の区内企業就職に向けて



## 他自治体の事例

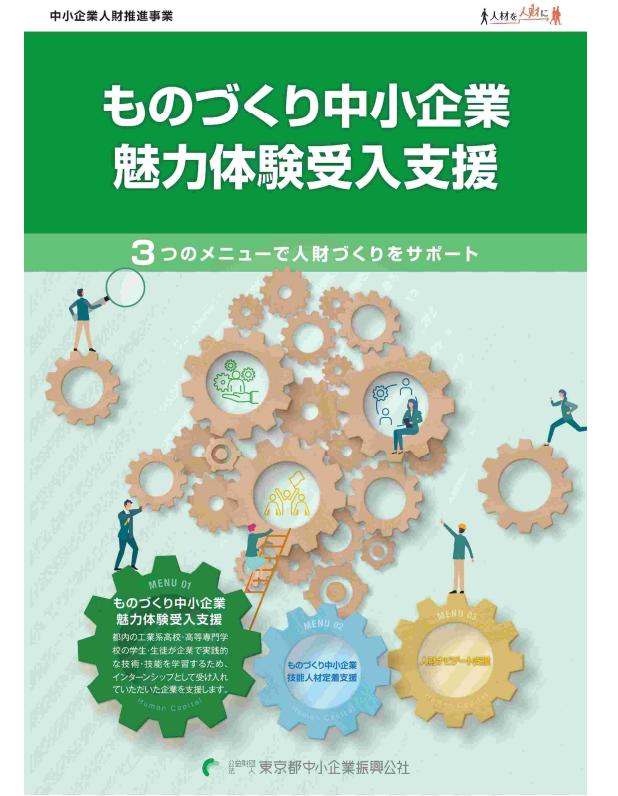
# 地元企業への就職支援事例（1）

1

## ものづくり中小企業魅力体験（インターンシップ）受入支援事業

ものづくり産業における若手人材確保と育成

- 2011年から**東京都中小企業振興公社**が実施している、ものづくり産業における若手人材確保と育成を目的とした事業。
- 都内に主たる事業所を有する、ものづくりを行う中小企業を対象に、インターンシップ受入協力企業を募集・登録。登録された企業の情報は、都内の工業系高校・高専に提供され、学生のインターンシップ先の選択肢として紹介される。
- インターンシップ生を受け入れた中小企業に対し、1日1名あたり8,000円の奨励金が支給される。



## 他自治体の事例

# 地元企業への就職支援事例（2）

2

## マッチングセッションOTA

### ものづくり企業と高校生をつなぐ交流イベント

- 「マッチングセッションOTA」は、**大田工業連合会青年部連絡協議会と都立六郷工科高等学校が共同で開催している**、ものづくり企業と高校生とをつなぐ交流イベント。2019年度から開始。
- 就職活動を控えた高校生に対し、地元大田区のものづくり企業の魅力をブースを設け直接伝えることで、将来の進路選択を支援し、同時に中小企業の人材確保を目的としている。このイベントを通じ、生徒の工場見学やインターンシップの受け入れなど、採用活動にもつながっていく。
- 六郷工科高校では、本イベントを教育カリキュラムの一環として位置付けている。

【参考：2025年度実績】

6月17日開催、26企業が出展、1～3年生・親含め約300人参加



マッチングセッションOTA2025

## 他自治体の事例

# 地元企業への就職支援事例（3）

3

## 大田区ものづくり企業への就職ガイドブック

中小ものづくり・技能職の働き方の良さをPR

- ・ 東京商工会議所大田支部は、平成生まれの若者の地元定着を喚起し、大田区の中小ものづくり・技能職の働き方の良さをPRするガイドブックを2022年3月に発行。
- ・ 本ガイドブックでは、学校へのヒアリングを基に、習得できる技術・技能のみならず、若い技術者の職場での過ごし方や人間関係、お昼の様子や通勤手段など働き方全般について取材記事やコラムを通して伝えている。
- ・ また、女性技術者や海外人材も仕事を通じて成し遂げたい夢や目標、いきいきと働ける社風などを紹介。
- ・ 老舗からベンチャーまで45社を掲載。

